



平成 30 年 4 月 27 日

各 位

会社名 株式会社メディネット
代表者名 代表取締役会長兼社長 木村 佳司
(コード番号:2370 東証マザーズ)
問合せ先 経営 管理 部長 落合 雅三
(TEL 045-478-0041)

特別損失(貸倒引当金繰入額)の計上に関するお知らせ 並びに

第三者割当による新株予約権の発行に関する資金使途および支出予定時期の変更について

当社は、平成 30 年 4 月 27 日開催の当社取締役会において、平成 30 年 9 月期第 2 四半期(平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)において特別損失(貸倒引当金繰入額)の計上を行うことを決議し、それに伴い、平成 25 年 3 月 7 日付「第三者割当による第 4 回～第 6 回新株予約権(行使価額修正選択権付)の発行および新株予約権買取契約(行使許可条項付・ターゲット・イシュー・プログラム「TIP」)締結に関するお知らせ」¹において開示いたしました「調達する資金の具体的な使途」について変更することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします

記

1. 特別損失(貸倒引当金繰入額)の内容

当社および連結子会社である株式会社メドセルは、Argos Therapeutics, Inc. (本社:米国、President & CEO Jeffrey D. Abbey、以下「Argos 社」)の転移性腎細胞がんを対象とする再生医療等製品「AGS-003」について、Argos 社と協働して日本国内で商業化することを目指していましたが、この度、Argos 社が同製品の開発を中止したため、当該商業化を断念するとともに Argos 社に対する貸付金等の回収可能性に懸念が生じたとの判断から、520 百万円を特別損失(貸倒引当金繰入額)として計上するものです。

2. 今後の見通しについて

上記の特別損失(貸倒引当金繰入額)につきましては、本日(平成 30 年 4 月 27 日)公表の「平成 30 年 9 月期連結業績予想の修正および役員報酬減額に関するお知らせ」に反映されております。

3. 第三者割当による新株予約権の発行に関する資金使途および支出予定時期の変更について

上記のとおり、Argos 社が同製品の開発を中止したことから、当社は、平成 25 年 3 月 7 日付「第三者割当による第 4 回～第 6 回新株予約権(行使価額修正選択権付)の発行および新株予約権買取契約(行使許可条項付・ターゲット・イシュー・プログラム「TIP」)締結に関するお知らせ」¹において開示いたしました「調達する資金の具体的な使途」の内容を変更することといたしました。

資金使途の変更内容は以下のとおりであります。

<変更前>

調達する資金の具体的な使途

	具体的な使途	金額(百万円)	支出予定時期
①	細胞医薬品開発に係る技術。ライセンス等の導入費用	1,000	平成 25 年 9 月～平成 32 年 9 月
②	CMC、前臨床試験および治験の申請・実施に係る費用	1,500	平成 25 年 9 月～平成 32 年 9 月
③	細胞医薬品開発用細胞加工施設の建設に係る費用	1,549	平成 26 年 4 月～平成 27 年 9 月

<変更後>

調達する資金の具体的な用途（変更箇所は下線）

具体的な用途	金額(百万円)	支出予定時期
① 細胞医薬品開発に係る技術。ライセンス等の導入費用	1,086	平成 25 年 9 月～平成 30 年 4 月
② CMC、前臨床試験および治験の申請・実施に係る費用	97	平成 25 年 9 月～平成 30 年 4 月
③ 細胞医薬品開発用細胞加工施設の建設に係る費用	1,537	平成 26 年 4 月～平成 27 年 9 月
④ <u>構造改革に係る費用</u>	300	<u>平成 30 年 5 月～平成 31 年 9 月</u>
⑤ <u>再生医療等製品の開発に係る費用</u>	1,029	<u>平成 30 年 5 月～平成 32 年 9 月</u>

上記①～③につきましては、当初、Argos 社「AGS-003」の事業化関連費用を前提としておりました。今般、Argos 社が同製品の開発を中止したため、実態に合わせて資金用途を変更いたしました。①につきましては、これまでの支出の実績として 1,086 百万円となりました。②につきましては、これまでに AGS-003 治験準備費用として 97 百万円を支出しておりますが、今後の支出の予定はなくなりました。③につきましては、これまでの支出の実績として 1,537 百万円となりました。なお、④、⑤につきましては、新たな資金用途として予定しております。④につきましては、本件と同時に発表しております構造改革の費用として、事業所の統廃合と移転費用、人員削減に係る費用等に支出を予定しております。⑤につきましては、平成 29 年 12 月 21 日付で発表しました自己培養軟骨 NeoCart の事業化ⁱⁱⁱおよび平成 30 年 3 月 22 日付で発表しました成人 T 細胞白血病を対象とした樹状細胞ワクチンの事業化^{iv}への支出を予定しています。

以上

ⁱ 平成 25 年 3 月 7 日リリース <http://v4.eir-parts.net/v4Contents/View.aspx?cat=tdnet&sid=1043416>
「第三者割当による第 4 回～第 6 回新株予約権（行使価額修正選択権付）の発行 および新株予約権買取契約（行使許可条項付・ターゲット・イシュー・プログラム「TIP」）締結に関するお知らせ」

ⁱⁱ 平成 28 年 4 月 28 日リリース <http://v4.eir-parts.net/v4Contents/View.aspx?cat=tdnet&sid=1349447>
（開示事項の経過）「米国 Argos Therapeutics 社との細胞医療製品「AGS-003」ライセンス契約に関するお知らせ」

ⁱⁱⁱ 2017 年 12 月 21 日リリース <http://v4.eir-parts.net/v4Contents/View.aspx?cat=tdnet&sid=1540940>
「ヒストジェニックス社と自己培養軟骨「NeoCart®」のライセンス契約を締結」

^{iv} 2018 年 3 月 22 日リリース <http://v4.eir-parts.net/v4Contents/View.aspx?cat=tdnet&sid=1566553>
「独立行政法人国立病院機構と共同開発契約を締結 ～成人 T 細胞白血病を対象とした樹状細胞ワクチンの第 II 相医師主導治験に着手～」